

令和6年10月11日

保護者各位

鳥栖市立麓小学校
校長 槇原 さゆり

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要について（お知らせ）

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果が文部科学省から公表されましたので、その調査結果をもとに本校の結果について分析をしました。結果の概要についてお知らせします。

なお、以下に示す内容は学力の特定の一部であること、また、学校における教育活動の一側面であることを御理解くださいますようお願いいたします。

1 令和6年度全国学力・学習状況調査について

令和6年4月18日、下記のような内容で全国一斉に小学校6年生を対象として実施されました。調査内容は、次のとおりです。

(1) 教科に関する調査（国語、算数）
① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等
調査問題では、①と②が一体的に問われています。
(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関して調査されています。

2 教科に関する調査結果から全国平均正答率と比較して見える本校児童の姿

(1) 国語について

- ・全体の平均正答率は、全国の平均正答率を上回っていました。
- ・本調査の対象となった「知識・技能」と「思考・判断・表現」の2観点のどちらも全国平均正答率を上回っていました。
- ・「知識及び技能」に関する内容で「我が国の言語文化に関する事項」が、全国平均正答率を大きく上回っていました。
- ・「知識及び技能」に関する内容で出題の趣旨「送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる」では全国平均正答率を大きく上回っていました。
- ・「思考力、判断力、表現力等」に関する内容で「読むこと」では出題の趣旨「登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができるかどうかをみる」については全国平均正答率を大きく上回っていました。

(2) 算数について

- ・全体の平均正答率は、全国の平均正答率を上回っていました。
- ・本調査の対象となった「知識・技能」「思考・判断・表現」は全国平均を上回っていました。
- ・「知識・技能」に関する内容で「変化と関係」領域で、全国平均正答率を大きく上回っていました。

- ・「知識・技能」に関する内容で、出題の趣旨『「以上」の意味を理解し、示された表から必要な数を読み取ることができるかどうかをみる』の正答率が全国平均正答率を大きく上回っていました。
- ・「思考・判断・表現」に関する内容で、出題の趣旨「速さの意味について理解しているかどうかをみる」の正答率が全国平均正答率を大きく上回っていました。
- ・「思考・判断・表現」に関する内容で、「データの活用」領域の「示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうかを判断できるかどうかをみる」を問う問題では、全国平均正答率をやや下回っており課題が見られました。

3 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査結果から見える本校児童の姿

- ・「学校に行くのは楽しいと思いますか」の質問に対して「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と答えた児童が 93.1%います。
- ・「友達関係に満足していますか」の質問に対して「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と答えた児童が 93.2%います。また、「学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の質問に対して、「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と答えた児童が 84.1%いたことから、友達と学び合うことが楽しいと考え、学級での支持的風土の中で学習していることがわかります。
- ・「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか」では「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と答えた児童が 85.3%います。
- ・「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）」の質問に対して「1時間以上、2時間より少ない」が 35.2%と最も多く、次いで「3時間以上」「2時間以上、3時間より少ない」が 9.1%、と回答しています。しかし、「30分より少ない」が 11.4%「全くしない」と答えた児童が 4.5%いました。本校では6年生の学習時間のめやすを「60分以上」としていますが、全国平均より高い結果となりました。
- ・国語、算数、理科、英語の各教科を好きかという質問でも、各教科とも「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた児童が全国平均を上回っています。
- ・「新聞を読んでいますか」の質問に対して、「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と答えた児童が全国平均よりも低い結果が出ています。

4 今後の改善策（児童の力をさらに伸ばすために）

- ・今後も「学び合い」の時間を積極的に取り入れることに加え、「振り返り」の時間を充実させていきます。
- ・佐賀県教育委員会指定の「理数科教育」の指導に力を入れます。特に算数科・理科が好きな児童が増えるように、学校行事や児童会活動で理数的な要素を含んだ内容を加えたり、校内掲示物の工夫をしたりします。また、授業で学んだことを普段の生活で活用できないか考えたり、自分の予想を立て解決したりしようとする児童を育むよう、学習の題材を児童の身近な物で提示したり、家庭や地域での学習にも活用できるような情報の提供をしたりするなどの授業の工夫をします。
- ・学習規律や基本的な生活習慣の定着を図るため、鳥栖西中学校区の小中一貫教育で取り組んでいる学習の約束を継続します。

- ・「授業づくりのステップ1・2・3」を活用し、授業改善を図るとともに、1時間の授業の流れをできる限り統一したり、電子黒板を活用して内容を視覚的に捉えさせたりするなど、授業のユニバーサルデザイン化に取り組みます。
- ・話し合い活動を多く取り入れ、問題提示を工夫した授業を設定します。特に学習の終末で「ふりかえり」の時間を充実するようにします。
- ・家庭学習については、家庭と連携して児童が自分の興味関心が高いものだけでなく苦手と感じた内容を中心に自主学習に取り組むよう図っていきます。

・家庭でも次のようなことに心がけてください。

1 家庭での学習時間をつくってください。

【学習時間：10分×学年数字（「家庭学習の手引き」より）】

- ◎学習する時間や時間帯を決め、取り組ませることで学習習慣を身に付けさせましょう。
- ◎読書にも進んで取り組ませましょう。
- ◎スマートフォンを使う時間やテレビを見る時間、ゲームをする時間を決め、長時間にならないようにしましょう。
- ◎ドリル学習やテスト直し等の復習だけでなく、予習にも取り組ませましょう。
- ◎お子さんの興味関心が高い分野について話し合っ、調べ学習や体験学習にも取り組ませましょう。

2 生活のリズムを整え、お子さんとのコミュニケーションの時間を大切にしてください。

- ◎今後も引き続き、早めに起床させ、必ず「朝食」を食べさせるようにしましょう。
- ◎学校での出来事や話題になっているニュース、読んでいる本の内容について話し合しましょう。
- ◎お子さんががんばったことや良くできたことを、積極的にほめましょう。

5 学習の約束について

- ・鳥栖西中学校生徒会と麓小学校・旭小学校の運営委員会の児童・生徒が話し合っ決めて取り組んでいる『学習の約束』です。ご家庭でも話題にしてください。

学習の約束（小学校）

《授業前》

- ・次の学習のじゅんび。
- ・1分前着席・30秒間黙想。
- ・声をそろえてあいさつ。

《授業中》

- ・めあてとまとめを意識しよう。
- ・先生や友達の話をしっかり聞いて、すすんで学習に取り組もう。
- ・グループ活動では、自分の考えと友達の考えをくらべながら、よりよい考えにしよう。

《ふりかえり》

- ・学習の内容を整理し、次の学習につなげよう。



